〝Made in ぐんま〟でグローバル発信

東日本大震災に伴うサプライチェーンの寸断、1ドル=80円以下が続く為替環境、またタイの洪水など国内のモノづくりは試練の時を迎えている。もちろん製造業を主力とする群馬県もその例外ではない。2011年度上期の群馬県経済は震災の影響もあり前年を下回る状況が続いたが、下期の挽回に期する。

試練の1年に立ち向かう

群馬県産業

震災の影響克服へ一歩一歩

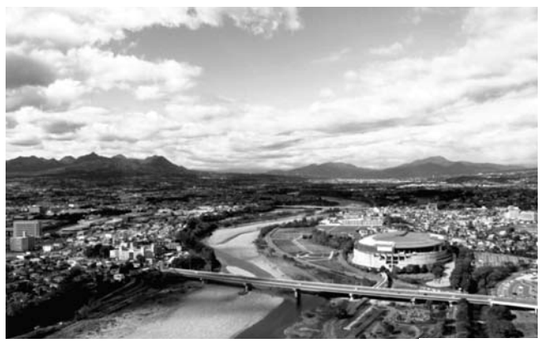
市町村別で見ると、富士重工業群馬製作所を中心に自動車産業が集積する太田市の製造品出荷額が2兆円弱と全体の27・0%を占める。2位は製造業大手の工場が多数立地する伊勢崎市の同1兆円弱。高崎駅を中心に商業の街であり、かつ製造業も盛んな高崎市の同7000億円弱と続く。

群馬県が21日に発表した県内の鉱工業指数（05年=100、季節調整済み）では、9月の生産指数は前月比0・9%低下の94・9だった。輸送機械の生産が前月比1・3%増と堅調だったほか、プレス用金型や娯楽機器など一般機械が同19・8%伸びた。一方、レーザープリンタや電話機などの情報通信機械、医薬品製剤や合成洗剤などの化学工業がそれぞれ同27・8%、同9・1%低下。サプライチェーン寸断の影響は解消したが、夏の電力不足による工場操業の制約などを受けて伸び悩んだと思われる。

一方、日銀前橋支店が9月に実施した管内企業短期経済観測調査（短観、回答社数=213社）では業況判断DIは4ポイント、前回の6月調査から22ポイント改善した。輸送用機械は前回の同ポイント73から同13に改善し、東日本大震災に伴うサプライチェーン寸断からの復旧による生産回復が数字として顕著に表れた。先行き年末にかけては同1と、震災前の水準への回復に期待される。

しかし、この調査の時点では欧州の財政危機やタイの洪水による影響などは考慮されていない。長引くタイの洪水問題では、今春に続いて自動車メーカーが部品調達難による生産への影響を受けている。群馬県内に製造拠点を置く富士重工業は幸い、「タイの洪水による影響は出ないと考えている」としている。

タイに製造子会社を持っている自動車部品メーカーでは、チョンブリ県に4輪・2輪用電装部品の製造拠点を持つミツバには直接生産に影響する被害はなかったという。一方、サンデンはアユタヤ県のロジャナ工業団地にある製造子会社の建物が浸水した。



県庁展望台から望む群馬県平野部と中央を流れる利根川

群馬経済研究所が10月末に発表した緊急アンケート（回答社数=106社）では、今回の円高ドル安を「望ましくない」と回答する企業が6割弱だった一方、「望ましい」とする企業は5%弱しかなかった。円高による影響（複数回答）は、「景況感悪化による売り上げの低迷」（49・5%）、「取引先からのコストダウン要請」（44・8%）、「取引先の業績悪化による受注減」（35・2%）、「取引先の海外移転による受注減」（33・3%）など。円高のメリットである「原材料価格の低下」は11・4%のとどまった。

そこで首都バンコク東部のチャチューンサオ県にあるウェルグロー工業団地内に仮事務所および仮工場を設置し、稼働を始めた。

これまで災害の影響は比較的軽微にとどまっているが、現在の為替環境は群馬県内の産業にとって厳しい。

新市場を開拓せよ

群馬県産業が厳しい環境で奮闘する中、群馬県からのいっそうのサポートも求められている。

県は17・18の両日に神奈川県厚木市の日産自動車テクニカルセンターで「ぐんま新技術・高度先進技術展示商談会」を開いた。群馬県内から68社が出展し、日産自動車の関係者913人が来場し、商談を進めた。

08年のトヨタ自動車を皮切りに県は自動車業界対象の商談会を開いてきたが、日産対象は今回が初めて。日産は栃木県に車体工場を持つほか、群馬県内や隣県に多くのサプライヤーが立地する。日産のグローバル戦略の下では国内拠点の増産は期待薄だが、それでも県内企業と日産との取引拡大への期待は大きい。

また群馬県は5月に「次世代産業振興戦略会議」を設置し、健康医療、環境、観光と幅広い分野を対象に、個別に進めていた支援施策を同会議で集約。会議を通じて多面的に新産業の育成を進めるほか、異業種交流も活発化させる。また群馬県の伝統産業である繊維や金型産業には海外展開を支援している。

国内市場の縮小が懸念される中、新産業の育成や既存産業の海外販路の拡大を通じ、新たな市場を開拓する。

熱気あふれる日産対象の商談会。来場者に自社技術を説明

秋晴れの下にそびえる群馬県庁

震災後の経済回復に向けて

市町村や経済団体と連携

異業種間交流を推進

群馬県知事
大沢　正明氏

本県経済は東日本大震災の影響から順調に回復を続けてきましたが、夏以降の記録的な円高により、輸出関連産業を中心に再び厳しい環境に直面し、先行き不透明な状況にあります。これに対応するため、県では中小企業の資金繰りに対して、経営サポート資金などの制度融資を通じて支援するとともに、商工会、商工会議所、信用保証協会などの支援機関と連携し、きめ細かい経営相談や金融相談などを実施いたしました。

こうした当面の対策に加え、中長期的な視点からは、円高の長期化や人口減少に伴う国内市場の縮小、経済のグローバル化への対応として、技術力の向上や産業人材の育成など、国際競争力を持続的に高めるための施策を強化していく必要があります。本年5月に設置した「次世代産業振興戦略会議」では、県内企業の次世代産業への参入の戦略を多角的に検討するほか、技術研修会、異業種間交流などを通じて、新たな技術開発に取り組んでいくこととしています。この他、研究開発への補助や試験研究機関と中小企業との共同研究、生産性向上のための産業人材の育成などを進めていきます。

北関東自動車道が全線開通し、高速交通の十字軸が完成したことで、物流拠点性が高まるなど本県の立地環境は格段に向上するとともに、災害に強いという本県の「安全と安心」は、今回の震災で改めて証明されました。そこで、11月24日に東京で企業立地セミナーを開催し、こうした本県の優位性を強くアピールしてまいりました。また25日には、県内の全市町村や各経済団体とともに、「群馬県バックアップ機能誘致協議会」を設立しました。今後も本県の強みを生かして製造業、物流、バックアップ機能の誘致に積極的に取り組んでまいります。

先頃、海外への販路開拓や群馬県への誘客促進のため、瀋陽、上海、香港といった都市を訪問してまいりましたが、どこも活気に満ちあふれ、その勢いを痛感したところです。本県としても、こうした海外市場の需要を取り込むため、海外セミナーを開催して海外現地の生の情報などを提供するほか、日本貿易振興機構などの支援機関と連携した「海外販路開拓支援ネットワーク会議」や、国のジャパンブランド育成支援事業を活用して県金型工業会が行うメキシコでの市場調査などを応援しています。

一方、観光振興については、本年7月から9月の間にJR各社、市町村、関係団体と連携して「群馬デスティネーションキャンペーン」を展開しました。期間中の主な観光地の入込観光客数は昨年比7・1%の増加となるなど、大きな成果を上げることができました。こうした取り組みを一過性に終わらせることなく継続的に行い、観光素材の磨き上げと誘客促進に努めてまいります。

今後、本格的に平成24年度予算の編成を進めてまいりますが、本県産業が将来に向かってさらに大きくはばたけるよう、引き続き積極的な事業展開を図っていきたいと考えています。

「群馬県ものづくり人材育成ポータルサイト」を開設

群馬県は9月に「群馬県ものづくり人材育成ポータルサイト=**写真**」を開設した。県内ではさまざまな機関が人材育成支援サービスを提供している。そこでこれらの情報を一元化することで、いっそうの利用を促す狙いだ。また県が進めてきた中小企業向け現場改善支援事業が本格化する。人材育成の支援が相次ぐのは、モノづくりの強化には現場で活躍する人材が欠かせないからだ。

群馬県ものづくり人材育成ポータルサイトでは機械加工や電気電子などの分野別に研修・セミナー情報が掲載される。加えて、中小企業経営者のスキルアップに関するイベントや、市町村の制度各種も紹介されている。

同サイトを通じて各種のイベントを一元的に把握できるため、参加申し込みを逃すなどといった事態を防げる。県の委託を受けた群馬県モノづくり研究会が運営する。

ただ中小企業の多くは生産技術者が不在、または〝カイゼン〟の進め方に関するノウハウが不足しているといった課題を持っている。

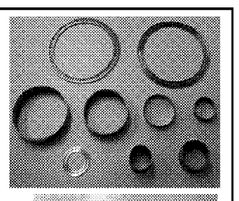
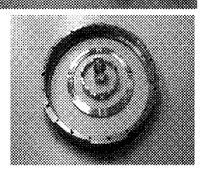
中小向けカイゼン支援事業も本格化

そんな中、県内の大手製造業OBが県内の中小企業の改善活動を支援する「ぐんま改善チャレンジ」事業を拡大する。これまで試験運用を含めて10社で実施した。運営に関するノウハウの蓄積や指導員が増えることから12年度は年間30件の依頼に応じられる体制を整える。企業負担が最大10万円という低価格を強みに、県内の中小製造業の生産性を底上げする。

同事業では2人1チームで依頼先企業に2週間に一回程度の頻度で訪問する。仕掛品削減や設備稼働率向上などに向けて助言・指導する。チャレンジ事業は11年度に始めた。県が費用を一部負担しており、受け入れ企業の負担額は1回2万円。原則として最大5回まで指導を受けられる。

MITSUBA
1台のクルマの中に、いったいどれだけのミツバのテクノロジーが搭載されているのか知っていますか?…エンジンの始動から目的地に無事に到着するまで、ミツバの製品は、クルマのさまざまな部分で、安全で快適なドライブのお手伝いをしています。

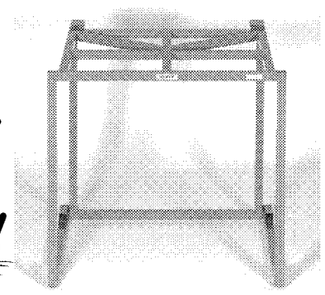
1台のクルマ、そこにはたくさんのミツバの技術が生きています。
きっと、あなたのクルマにも――
株式会社ミツバ
本社／群馬県桐生市広沢町1-2681 〒376-8555
TEL.(0277)52-0111(代) http://www.mitsuba.co.jp

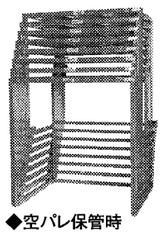
●薄肉加工品の真円度
ミクロン精度の追求
厚さ0.5ミリ位のリングをパイプまたは丸棒より削りだし真円度20ミクロン以下に仕上げ
大きさは直径5㎜から800㎜まで可能

●幅 薄肉品の平面度、
平面度のミクロン精度の追求
寸法精度のだしずらい幅方向の平面度
平行度の精度を追求


ISO 9001認証取得
株式会社山岸製作所
〒370-0081 群馬県高崎市浜川町590-23(浜川工業団地内)
TEL027-360-4100(代) FAX027-344-5850
E-mail info@yamagishi-ss.com URL http://www.yamagishi-ss.com

ステンレス板金 1個から製作します！
短納期・少量多品種 最短即日出荷します
ステンレス板金加工には絶対の自信を持っています

KOBANA METAL WORKS 株式会社小花製作所 〒370-1103 群馬県佐波郡玉村町 229-7
Tel:0270-64-1234 Fax:0270-64-3456
★E-mail kobana@kobana-flett.com ★URL http://kobana-flett.com

限られたスペースを有効に…
物流の新提案!!
ネスラック®-P
特許取得!
ワンウェイ用軽量プラパレットに対応し幅広い用途に使用できます。物流の合理化、省力化、スペースの有効活用に抜群の威力を発揮します。
レンタル承ります!!

倉庫内を立体化

◆使用例

◆空パレ保管時
特　長
●自由に移動できる棚　●耐久性は半永久的
●多段積みで空間の有効活用　●不要時のスペース効率抜群
●コンパクト設計のため低コスト　●作業効率を大幅アップ
●常時在庫保有のため、短納期可能
荷役運搬機器の総合メーカー
OKD 岡田工業株式会社
代表取締役社長 岡田 和夫
本社工場 〒370-0306 群馬県太田市新田市野倉町282番地2
TEL0276(60)4711(代表)・FAX0276(60)4741
東京営業所 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3－3
TEL03(3254)8631(代表)・FAX03(3254)2832
URL http://www.okada-industry.co.jp/

リサイクル品・ダイカスト品・鍛造品搬送コンベヤー
Lスラット STE80
<スチール製>

スラット板の隙間が殆どないので噛み込み無し！！
● 特長
・リサイクルプラントの粉砕機、圧縮プレス機等への投入やダイカスト製品・湯口の搬送及び熱間・冷間鍛造品の搬送に適したコンベヤです。
・従来のスラット板の欠点であるスキ間を極力狭くしてバリや薄板スクラップカスなどの挟み込みを解消した新タイプです。
・ニーズに合わせて仕様変更が可能な為、重量物や熱・水分・油といった過酷な環境に強い！
～ コンベヤ総合メーカー ～
サンエイ株式会社
URL http://www.sanei-cv.co.jp
E-mail address：sales@sanei-cv.co.jp
粕川事務所 ● 〒371-0215 群馬県前橋市粕川町深津1873
TEL 027-285-3600(代) FAX 027-285-3695
名古屋営業所 ● 〒472-0004 愛知県知立市南陽1-38-D-5
TEL 0566-82-6150(代) FAX 0566-82-5742